

# 進む建設工事

すすむけんせつこうじ



北千葉道路の建設は、並行する成田新高速鉄道に近接した工事となることから、鉄道の運行や構造物に影響を与えないように、重機の作業範囲の

確認や鉄道施設との離隔の確保、また、作業中は鉄道構造物の変位観測を行うなど細心の注意を払いながら工事を進めています。

## 建設工事の様子

<p>①切土部(鉄道併設部) 印西市松虫付近</p> <p>平成21年4月</p> <p>平成22年3月</p>	<p>②盛土部(鉄道併設部) 印西市立田台付近</p> <p>平成21年4月</p> <p>平成22年3月</p>	<p>③高架・橋梁部(鉄道併設部) 印西市吉高付近(印旛捷水路橋)</p> <p>平成21年4月</p> <p>平成22年3月</p>	<p>④印旛沼渡河橋(一体下部工)付近 印西市吉高千拓～成田市北須賀</p> <p>平成21年4月</p> <p>平成22年3月</p>	<p>⑤盛土部(鉄道併設部) 成田市八代付近</p> <p>平成22年3月 (地上写真)</p> <p>平成22年3月 (空中写真)</p>	<p>⑥高架・橋梁部(鉄道併設部) 成田市松崎付近(松崎高架橋)</p> <p>平成22年3月 (地上写真)</p> <p>平成22年3月 (空中写真)</p>
--	---	---	--	--	--

※建設工事①～⑥ 下記ルートマップ参照

## 北千葉道路の整備効果

### 東葛地域と成田国際空港のアクセス向上

東葛地域(松戸市・柏市周辺)から成田地域への移動時間が大幅に短縮

柏市～成田国際空港の所要時間  
120分 (現況) → 90分 (整備後)  
**30分短縮!**

出典: 成田国際空港(株)ホームページ

### 救急アクセスの向上

病院への搬送時間が短縮されます。

日本医科大学 千葉北総病院  
成田赤十字病院

### ～北千葉道路の主な効果～

- ① 地域の活性化
- ② 交通処理能力の向上・成田市街地の交通円滑化
- ③ 広域道路ネットワークの強化・物流の効率化
- ④ 救急医療・防災機能の強化

## 埋蔵文化財

北千葉道路と成田新高速鉄道の路線上に、8つの遺跡が分布しています。道路工事、鉄道工事と併せて、平成18年より(財)千葉県教育振興財団文化センターに委託し発掘調査が実施されました。

調査の結果、旧石器時代の石器集中地点、縄文時代の遺物包含層、弥生時代の竪穴住居跡、古墳時代後期～終末期の集落と古墳が確認されました。

遺跡の分布図

1. 松虫陣屋跡
2. 小原第1遺跡
3. 小原第2遺跡
4. 堀尻第2遺跡
5. 木橋第2遺跡
6. 立田台第2遺跡
7. 松崎外小代内小代遺跡
8. 松崎山/台遺跡



参考:インフォメーションセンター展示資料

## 北千葉道路事業化区間ルートマップ

一般国道464号北千葉道路は、常磐自動車道と東関東自動車道(水戸線)のほぼ中間に位置し、千葉県北西部の東葛地域から千葉ニュータウンを経て成田市を結ぶ全長約43kmの幹線道路です。現在、建設工事が進む事業化区間の約13.5kmは、起点の

印西市若萩から成田市北須賀間の約4.2kmを千葉県が、成田市北須賀から成田市押畑間の約5.6kmを国が、そして、成田市押畑から終点の成田市大山間の約3.7kmを千葉県がそれぞれ施行します。

一般国道464号北千葉道路延長約13.5km

- 千葉県施行区間 延長約4.2km (平成17年度事業化)
- 国施行区間 延長約5.6km (平成17年度事業化)
- 千葉県施行区間 延長約3.7km (平成19年度事業化)

起点: 印西市若萩 (終点: 成田市大山)

沿線施設: 成田新高速鉄道、成田湯川駅、成田JCT、成田駅、京成成田駅、成田国際空港

凡例: 切土・盛土部 (緑線)、高架・橋梁部 (赤線)、面築 (青線)、成田新高速鉄道 (黒線)

スケール: S=1:150,000 (0, 500m, 1km)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号: 平22関復、第10号)



## 成田新高速鉄道



成田国際空港と東京都心を30分台で結ぶ、最高時速160kmの成田新高速鉄道が平成22年7月17日に開業予定です。

資料:パンフレット「成田新高速鉄道プロジェクト」